

ジャック・フレデリック・ミュニエ Jacque Frederic Mugnier (Chambolle Musigny)

1863年設立。5代目となる現当主フレデリック・ミュニエ氏。若い頃は石油エンジニア、30歳になってワイナリーを引き継いだ後もフランスTAP航空の商業パイロットも兼業していたという異色の経歴の持ち主。隣にあるジョルジュ・ルーミエとは親しく、色々とアドバイスを受けており、両者のワインは共通項も多く、洗練された緻密な構成や溢れ出る気品と色気に満ちています。また化学肥料や除草剤などに頼らない畑の生態系バランスを熟知した造りはテロワールの素晴らしさを最大限に引き出しています。ミュジニーとレ・ザムルーズが造りたくて、この仕事をしていると言い切る彼はシャンボール・ミュジニーの個性は特異なものと考えています。他のどの村よりもフィネスがあり、ミュジニーは別格としてレ・ザムルーズは唯一無二の個性があると語っています。(割当品)



シャンボール・ミュジニー Chambolle-Musigny

この村名クラスはコンブ・ドルヴォー(村名クラス)の畑と1級畑レ・プラント(シャルムの隣)のブレンドです。

シャンボール・ミュジニー・レ・フュエ Chambolle-Musigny 1er Les Fuees

1級のフュエは樹齢50年程から1500本~3500本。ボンヌ・マールと隣り合う区画。

シャンボール・ミュジニー・レ・ザムルーズ Chambolle-Musigny 1er Les Amoureuses

特級畑ミュジニーに隣接する特級並みのポテンシャルをもつ言わずと知れた人気の一級畑。

ボンヌ・マール Bonnes-Mares

畑の構成が東西対角線に沿ってテール・ルージュとテール・ブランシュ半々に分けられる。所有する区画は双方の土壌が同じ割合となっているほぼ中央で6(ブランシュ)4(ルージュ)から生まれる。

ミュジニー Musigny

10haの広さがあるミュジニーは6haのレ・ミュジニー(グラン・ミュジニー)とその南に接する4haプティ・ミュジニーからなるが、所有する1ha強の区画は、より高い割合でグラン・ミュジニー側にある。

sold out